



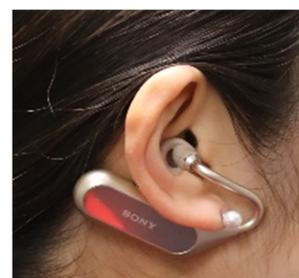
国内初、機内でヘッドセット型スマートデバイスの実証実験をスタート

～IT技術を活用し、客室乗務員の業務効率化を通じて、サービスの品質向上を目指します～

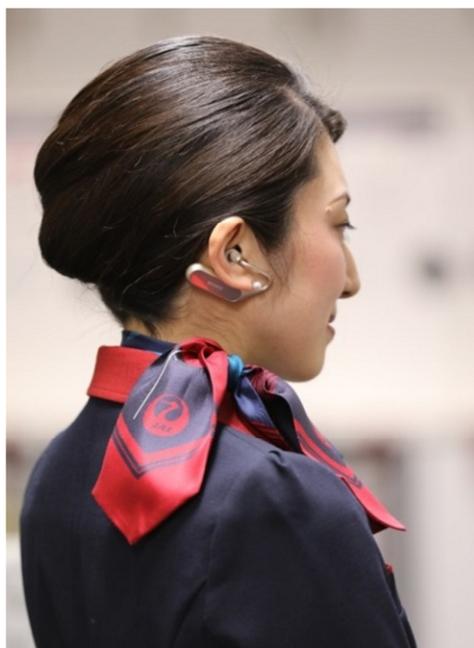
2018年4月11日
第18003号

JALは、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長 兼 CEO: 岸田 光哉氏、以下「ソニーモバイル」)と協力し、機内の客室乗務員間のコミュニケーションツールとして、スマートデバイスを活用した業務改善および効率化の実証実験を、4月下旬以降開始します。

現在、JALではサービスの品質向上を目指し、機内における客室乗務員の業務改善を行っています。今回の実証実験では、ソニーモバイルの最先端技術を活用した、ワイヤレスオープンイヤーステレオヘッドセット『Xperia Ear Duo』(以下、同製品)を使用します。機内における客室乗務員の業務効率化を目的とした、ヘッドセット型のスマートデバイス装着の実証実験は、航空業界では国内初の試みとなります。



従来、客室乗務員間でのコミュニケーションは、固定されたインターフォンを使用するか、直接口頭にて個々に情報共有を実施していましたが、同製品にてグループチャット機能を使用することにより、瞬時に情報共有を図ることが可能となり、業務効率の改善が期待されます。また、機内サービス時に客室乗務員の作業性や美観が損なわれないという特徴もあります。通信はヘッドセットとワイヤレス接続したスマートフォンをベースに行い、ソニーモバイルから提供いただく、客室乗務員の業務を想定した専用ソフトウェアを使用します。



将来的には、業務に必要な情報提供ソリューションなど、IT技術を通じてさらなるサービスの進化を目指します。JALはこれからもサービスの品質向上に向けて、常にイノベーションとチャレンジを続けてまいります。

以上

Embrace new
Challenges **JAL**
いつも心に、チャレンジを。